内部管理

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		財政管理事務	事業コート゛	1574					
	所属名	財政部 財政課				担当係名			
担当課等	課長名	財政部 財政課 藤澤和義	担当者名	財政部 晋	財政課	長澤	電話番号	2617	

1. 事務事業の基本情報

	施策の柱	信頼される質の高い行政	コード	施策	健全な財政運営の実現	コード			
			8						
│ 総合計画体系 │ │	基本事業	健全な財政運営	2	関連予算 費目名	一般会計 2款 1項 3目 財政管理事務(001-	-01)			
	特記事項								
事業期間	○ 単年度	○ 単年度 ● 単年度繰返 ○ 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 23年度~)							
事務事業の概要	基金管理, 市債管理など決算から財政状況を把握し計画的な財政運営を行う。								
根拠法令等									
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)									
この事務事業に対して関係者(市民, 議会, 事業対象者, 利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか									
過大な市債残高の削減、適正な規模での財政運営									
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか									
臨時的な財政出	動により経済す	策を行う必要があるが 一定の財政規律は必要で	あることか	ふ滴正か財政!	見模による運営に努める				

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象	盛岡市の財政(予算)	⇒	②対象指標	A. 一般会計予算額	単 位	千円
(誰を,何を対象 としているのか)			(対象の大きさを 示す指標)	В.	単位	
				C.	単位	
③手段	22年度実績(22年度に行った主な活動)	⇒	④活動指標	A. 各課等への予算執行に関する照会、通知、説明会	単 位	回
(事務事業の内 容, やり方, 手 順)	・財政及び資金計画の立案、管理 ・予算の執行計画の立案、管理 ・決算統計の取りまとめ		(事務事業の活動 量を示す指標)	B. 執行管理対象の事業数	単位	件
	・基金の管理 ・地方債の申請、管理			C. 地方債発行金額(一般会計分)	単位	千円
	23年度計画(23年度に計画している主な活動)					
	・財政及び資金計画の立案、管理 ・予算の執行計画の立案、管理 ・決算統計の取りまとめ ・基金の管理 ・地方債の申請、管理					
⑤意図	予算の適正な執行、管理を行うことにより、盛岡市財政 の安定的な運営を図る。	⇒	⑥成果指標	A. 実質収支比率	単位	%
(この事業により 対象をどのように			(意図の達成度を 示す指標)	【指標の性格:○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】		
変えるのか)				B. 起債制限比率 【指標の性格:○ 上げる ● 下げる ○ 維持する】	単 位	%
				C. 主要基金残高 【指標の性格:○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単 位	千円
⑦結果	限られた財源の中で計画的に執行する	⇒	⑧上位成果 指標	市債発行額(市債依存度)(単位:千円(%)) 自主財源比率(単位:%)	•	
(上位基本事業 の意図:上位の 基本事業にどの ように貢献する か)			(上位基本事業の 成果指標)			

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	一般会計予算額	千円	101,772,558	105,010,934	101,485,000	110,259,165	108,072,000		年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	各課等への予算執行に関する照会、通知、説明会		12	12	12	12	12		年度
活動 指標B	執行管理対象の事業数	件	895	872	872	880	1,021		年度
活動 指標C	地方債発行金額(一般会計分)	千円	10,165,481	10,774,600	11,431,700	11,582,892	13,252,700		年度
成果 指標A	実質収支比率	%	1.2	1.9	1.9	-	1.9		年度
成果 指標B	起債制限比率	%	13.4	13.3	13.3	-	13.2		年度
成果 指標C	主要基金残高	千円	4,879,809	4,979,463	4,993,048	7,637,053	6,260,630		年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	****
事業費	A	千円	0	0					****
財源	4a	千円							****
内訳	⑤県	千円							****
	⑥地方債	千円							****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	****
	⑧その他	千円							****
	合 計(④~8) (=A)	千円	0	0					****
延べ業務時間数			1,000	1,000	1,000	1,000	1,000		****
職員人件費 (B) (臨時職員賃金は, 事務費に含む)			4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	0	****
トータルコスト (A) + (B)			4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	0	****

3. 事務事業の評価(See)

有効性証	①成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか?	● 向上余地がある ○ 向上余地がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ
価		その内容:市債の発行抑制による将来負担の軽減
効率性証	②事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありませ んか?	● 削減余地がある ○ 削減できない
温		その内容:効率的事務執行に努める。
	③人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか?	● 削減余地がある○ 削減できない
		その内容:一時的に集中処理が必要な事務について事前準備を徹底し、時間外勤務の抑制を図る。

4. 事務事業の改革案(Plan)

7. 季初季素の収革素(Plan)
① 改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)
※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること
地方財政を取り巻く状況が厳しさを増しているため、可能な限り分かりやすい財政状況の説明を行って内外に理解を求めながら、市債残高の縮減や健全な財政運営を図る。
② 改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか?
(関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)
財政健全化比率等の財政運営へのフィードバックについて給計が必要です。

5. 課長意見

	mass
	(1)評価結果 (2)全体総括(振り返り, 反省点)
一次評価	① 有効性 ② 妥当 ● 見直し余地あり 予算執行計画を立て、それに基づき適正な執行と管理に努めるとともに、「盛岡市自治体経営の指針及び実施計画」に基づき計画的な市債発行を行った。
曲	②
Г	(3)今後の事務の方向性(改革改善案)
今後	□ 終了 ☑ 継続 □ □ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)
ι Ω	□ 廃止 □ 休止 □ 水砂酸 改革改善を行う
の方向性	事業統廃合・連携
と	
と改革改善案	
善案	方向付けの理由と改革改善の内容
	より適切かつ柔軟な予算執行管理を行うために、職場・自主研修を通じ法令等を熟知し、正確な事務処理に努めるとともにチェック体制の強化 を図る。また、財政状況の把握に努め、適切な財政運営を行うため、引き続き財政健全化法及び公会計改革に取り組む。